安全作業手順書【路面標示】 溶融式

作成日・改正日	2025/4/1 （前回改正：2024/4/1）	現場名	東名高速道路（豊田IC～春日井IC） 名古屋第二環状自動車道 （名古屋IC～飛島北IC,有松IC～上社JCT）
機器工具	防護マスク、防護メガネ、酸素濃度計、マーカー車、防護車両、清掃用具一式、保護手袋	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ、保護メガネ、保護マスク、皮手袋、軍手

見積もり基準をした危険性の評価

重大性(B) / 可能性(A)	○ 軽微（不休と休業３日以内）	△ 重大（休業４日以上）	× 極めて重大（死亡・障害が残る）
○ ほとんど起こらない（５年に１回程度）	○○（極めて小さい）	○△（かなり小さい）	○×（中程度）
△ たまに起こる（１年に１回程度）	△○（かなり小さい）	△△（中程度）	△×（かなり大きい）
× かなり起こる（６ヶ月に１回程度）	×○（中程度）	×△（かなり大きい）	××（極めて重大）

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例

危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし（様子を見る）
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分		作業手順・作業内容	急所	危険ポイント（～なので～になる）	リスクの見積り (A)	(B)	リスク	安全対策（危険度２以下へ）（私達はどうする）	リスクの再見積り (A)	(B)	リスク
準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割（運転手、助手）を決める 作業場所及び車線を確認する 交通規制状況を確認する 使用機械、工具等の点検を行う しらすんだーの動作確認及び点検を行う	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 必ず当日の規制簿を使用して 作業前に 朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	手順を間違えて思わぬケガをする 免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう / / 作業中に機械が故障し、思わぬ怪我をする 電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる	△ ○ / / △ △	× × / / × ×	4 3 / / 4 4	全員で手順書、KYの内容を周知する 乗車時に必ず免許区分明示車両ｽﾃｯｶｰを確認する / / 作業前に必ず道具、工具、機械類の点検を行う 毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○ ○ / / ○ ○	○ △ / / ○ ○	1 2 / / 1 1
	車両確認	セーフティーバイブル	25.車両回送手順書に則る								
	作業車両準備										
	作業車両点検										
	出発準備										
本作業	出発										
	規制内進入										
	車両移動停止										
	逸走防止										
	使用機器等	車両から必要機械を降ろす	①手袋などを着用して ②手・指挟まれに気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△	△	3	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○	△	2
	試験施工	規定の塗布量をみたしているかどうか試験施工を行う	施工幅、噴射パターン、塗料噴射量、ビーズ噴射量に注意して	/	/	/	/	/	/	/	/
	路面清掃	路面上の塗布接着阻害物（ゴミ、砂、泥、油、水分、付着物など）を除去する 塗料の溶解	特に水分の除去に気をつけて 溶解釜に着火し、溶解釜の攪拌用羽根が動く程度まで予熱を行う 攪拌し、材料が液状になり温度が(180℃～200℃）に達したら、溶解釜の火力を弱め保温する	除去する際に砂や小石が車線側に飛び出し第三者被害となる	○	×	3	飛散防止ネットを設置して、安全を確保してから作業をする	○	○	1
	作図	芯出しをする 塗装のための作図をする	①基準となる線または点から所定の寸法を計測してレーンマークの中心線・中心点を描く ②中心線を基準に施工に必要なケガキ線をポイントロープ等で書く ③車両通行帯に近い場所での作業は保安員の指示に従って安全に作業する	/ / /	/ / /	/ / /	/ / /	/ / /	/ / /	/ / /	/ / /
	プライマー塗布	プライマー散布機またはローラーを用いて塗布する	塗布幅は施工幅よりやや広めとして	/					/	/	/
	マスキング	レンマークの開始位置、終了位置にクラフトテープを用いてマスキングを施す		/					/	/	/
	塗装	溶解釜からといを用いて施工機に材料を移す 塗装開始前に施工機内の材料の温度が均一になるように材料をよく攪拌する 路面に塗布したプライマーが指に付着しない程乾燥していることを確認し、作図に沿って施工機にて設置塗装を行う 塗装後速やかに養生テープ、鉄板を除去する 指でへこまない程度硬化するまでカラーコーン等で立入禁止措置を行う	火傷しないよう手袋など保護具を身に着け肌が出ないようにして 火傷しないよう手袋など保護具を身に着け肌が出ないようにして	/ / / / /	/ / / / /	/ / / / /	/ / / / /	/ / / / /	/ / / / /	/ / / / /	/ / / 1 /
	清掃	余剰ビーズや路面に付着した材料を清掃する		ビーズ等が車線側に飛び出し第三者被害となる	○	×	3	飛散防止ネットを設置して、安全を確保してから作業をする	○	○	1
	出来形検測	出来形検測を行う	施工位置、線形、色相が設計図通り施工できているか確認して	/	/	/	/	/	/	/	/
	仕上げ	場内の清掃を行う 場内の状態確認を行う	竹ぼうきなどを使用して 使用道具、検測道具の置忘れに注意して	ビーズ等が車線側に飛び出し第三者被害となる /	○ /	× /	3 /	飛散防止ネットを設置して、安全を確保してから作業をする /	○ /	○ /	1 /
	現場離脱	25.車両回送手順書に則る									
	帰着										
	駐車										
	後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/
特記事項	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。										
	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1